平成25年９月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年５月13日

上 場 会 社 名	株式会社 東京一番フーズ	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3067	URL	http://www.tokyo-ichiban-foods.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	坂本　大地
問合せ先責任者	（役職名） 取締役副社長	（氏名）	井野　一三美　　(TEL) 03-5363-2132
四半期報告書提出予定日	平成25年５月14日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年９月期第２四半期の連結業績（平成24年10月１日～平成25年３月31日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年９月期第２四半期	2,334	0.9	536	4.1	546	4.6	349	1.6
24年９月期第２四半期	2,313	6.2	515	69.6	522	66.7	343	127.0

（注）包括利益　25年９月期第２四半期　　349百万円（　1.6%）　24年９月期第２四半期　　343百万円（ 127.0%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年９月期第２四半期	4,082.43	4,048.71
24年９月期第２四半期	4,075.02	4,001.46

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年９月期第２四半期	2,072	1,460	69.4
24年９月期	1,521	1,113	71.6

（参考）自己資本　25年９月期第２四半期　　1,438百万円　　24年９月期　　1,089百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年９月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年９月期	―	0.00			
25年９月期(予想)			―	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：無

３．平成25年９月期の連結業績予想（平成24年10月１日～平成25年９月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,350	3.3	175	7.0	190	2.6	108	△36.5	1,263.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

新規　　社（社名）　　、除外　　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年９月期２Ｑ	86,375株	24年９月期	86,340株
②　期末自己株式数	25年９月期２Ｑ	875株	24年９月期	875株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年９月期２Ｑ	85,499株	24年９月期２Ｑ	84,268株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……5
４．四半期連結財務諸表 ……6
（１）四半期連結貸借対照表 ……6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……10
（４）継続企業の前提に関する注記 ……11
（５）セグメント情報等 ……11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代によりデフレ脱却を強く志向するなか、株式市場も活況の様相を呈してまいりました。一方、個人消費においては、一部高額商品の消費に回復傾向が見られたものの、欧州における経済不安、新興国における景気の減速、雇用や所得環境の低迷、消費税増税等の先行きに対する不安感から、依然不透明なまま推移しております。

外食産業においても、「節約志向」からくる、「中食・内食志向」、「低価格志向」は依然根強く、加えて「食の安全・安心志向」などニーズの多様化は、企業・業態間競争をますます激しいものにしており、経営環境は依然厳しい状況が続いております。

こうした状況のなか、当社グループは、多数のふぐ調理師を擁する専門家の集団として同業他社と一線を画した経営を行い、従業員教育を徹底し、商品力、サービス提供力、店舗力の強化により、お客様満足度の向上に努めてまいりました。

主力業態の「泳ぎとらふぐ料理専門店　とらふぐ亭」では、毎年恒例のとらふぐ祭り等のキャンペーンや、販売促進活動が奏功し、堅調に推移しております。また、天然ふぐ料理を3,000円台の価格帯で満喫できる「ふぐよし総本店」、高品質な品揃えに注力した「おいしい寿司と活魚料理　魚の飯」は、好調に業績を伸ばしております。今後も、高品質な食材をお値打ち感のある価格で提供する方針を維持しつつ、新規店舗展開を図ってまいります。

さらに、当社グループの（株）長崎ファームにおいては、とらふぐ、クロマグロ等の養殖事業を開始したことに加え、東京都の「ふぐ取扱い規制緩和」による身欠きふぐ（除毒ふぐ）の販売が可能となったことを機に、本社（東京）に加工センターを増設し、生産・加工・販売まで一貫した体制が整いました。これにより、当社グループの仕入力は一層強化され、卸売事業としての加工ふぐ販売、鮮魚販売活動を強化しております。

このような環境下で、販売促進活動の一環として、「プロの料理人のためのとらふぐ講習会」なども積極的に展開し、身欠きふぐ等外販事業の需要拡大に努めました。また、これらのふぐ食の多様化を追求していくリーダーとして、毎年２月９日（ふぐの日）に、第５回目を迎えた「ふぐの日フォーラム」を開催し、ふぐ食文化へ貢献してまいりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における業績については、売上高23億34百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益５億36百万円（前年同期比4.1%増）、経常利益５億46百万円（前年同期比4.6%増）、四半期純利益３億49百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当第２四半期末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて５億38百万円増加し、13億７百万円となりました。これは主に、現金及び預金が４億20百万円増加したことによるものです。

（固定資産）

当第２四半期末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて12百万円増加し、７億65百万円となりました。これは主に、建物及び構築物を21百万円計上したことによるものです。

（流動負債）

当第２四半期末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて２億22百万円増加し、５億51百万円となりました。これは主に、未払法人税が１億87百万円増加したことによるものです。

（固定負債）

当第２四半期末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて19百万円減少し、61百万円となりました。これは主に、長期借入金が９百万円減少したことによるものです。

（純資産）

当第２四半期末の純資産は、前連結会計年度末に比べて３億47百万円増加し、14億60百万円となりました。これは主に、四半期純利益３億49百万円を計上したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期連結累計期間末に比べ10百万円増加し、９億93百万円となりました。当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は４億81百万円（前年同四半期より76百万円の収入減）となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益５億47百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は34百万円（前年同四半期より29百万円の支出増）となりました。主な要因は固定資産の取得による支出31百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は26百万円（前年同四半期より21百万円の支出減）となりました。主な要因は短期借入金及び長期借入金の返済による支出26百万円によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年９月期の連結業績予想につきましては、平成24年11月12日発表の「平成24年９月期 決算短信」に記載しております業績予想から変更はありません。

なお、当社グループにおいては通常の営業の形態として、第１四半期及び第２四半期におけるふぐの需要が大きいため、第１四半期及び第２四半期と第３四半期及び第４四半期の業績に著しい季節的変動があります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年９月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	573,620	993,812
売掛金	37,945	73,938
仕掛品	81,483	102,355
原材料	23,897	77,142
その他	51,201	59,808
流動資産合計	768,148	1,307,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,244,780	1,266,079
減価償却累計額	△1,086,036	△1,096,675
建物及び構築物（純額）	158,744	169,403
機械装置及び運搬具	16,705	17,366
減価償却累計額	△15,048	△15,308
機械装置及び運搬具（純額）	1,657	2,058
工具、器具及び備品	279,319	286,467
減価償却累計額	△257,107	△263,599
工具、器具及び備品（純額）	22,211	22,868
土地	147,365	147,365
建設仮勘定	2,812	5,016
有形固定資産合計	332,790	346,711
無形固定資産		
ソフトウエア	2,078	1,737
無形固定資産合計	2,078	1,737
投資その他の資産		
敷金及び保証金	367,234	368,037
破産更生債権等	21,478	21,478
その他	51,697	49,315
貸倒引当金	△21,478	△21,478
投資その他の資産合計	418,932	417,353
固定資産合計	753,800	765,802
資産合計	1,521,949	2,072,858

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年９月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	59,855	71,832
短期借入金	17,500	―
1年内返済予定の長期借入金	18,564	18,604
未払金	122,533	122,221
未払法人税等	18,085	205,354
賞与引当金	10,136	13,130
その他	81,875	120,217
流動負債合計	328,551	551,359
固定負債		
長期借入金	31,599	22,277
負ののれん	4,290	1,716
その他	44,344	37,080
固定負債合計	80,234	61,074
負債合計	408,786	612,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	472,190	472,295
資本剰余金	374,190	374,295
利益剰余金	272,988	622,032
自己株式	△30,339	△30,339
株主資本合計	1,089,029	1,438,283
新株予約権	24,134	22,141
純資産合計	1,113,163	1,460,425
負債純資産合計	1,521,949	2,072,858

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年10月１日 至 平成24年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年10月１日 至 平成25年３月31日）
売上高	2,313,418	2,334,687
売上原価	643,533	616,060
売上総利益	1,669,885	1,718,626
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	292,188	308,611
雑給	173,977	161,611
賞与引当金繰入額	13,000	13,130
広告宣伝費	14,434	14,346
販売促進費	4,423	7,626
減価償却費	17,125	15,497
不動産賃借料	213,800	213,121
その他	425,706	448,553
販売費及び一般管理費合計	1,154,655	1,182,497
営業利益	515,229	536,129
営業外収益		
受取利息	94	128
協賛金収入	3,329	3,926
負ののれん償却額	2,574	2,574
その他	2,571	3,939
営業外収益合計	8,568	10,569
営業外費用		
支払利息	1,186	538
その他	399	144
営業外費用合計	1,586	683
経常利益	522,211	546,015
特別利益		
新株予約権戻入益	－	1,992
特別利益合計	－	1,992
特別損失		
固定資産除却損	25	17
訴訟和解金	1,905	－
特別損失合計	1,930	17
税金等調整前四半期純利益	520,280	547,990
法人税、住民税及び事業税	176,887	198,947
法人税等合計	176,887	198,947
少数株主損益調整前四半期純利益	343,393	349,043
四半期純利益	343,393	349,043

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年10月１日 至 平成24年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年10月１日 至 平成25年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	343,393	349,043
四半期包括利益	343,393	349,043
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	343,393	349,043

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成23年10月１日 至 平成24年３月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成24年10月１日 至 平成25年３月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	520,280	547,990
減価償却費	19,361	18,067
負ののれん償却額	△2,574	△2,574
賞与引当金の増減額（△は減少）	4,960	2,993
受取利息及び受取配当金	△94	△128
支払利息	1,186	538
新株予約権戻入益	－	△1,992
固定資産除却損	25	17
売上債権の増減額（△は増加）	△42,122	△35,992
たな卸資産の増減額（△は増加）	△34,850	△74,116
仕入債務の増減額（△は減少）	15,268	11,976
その他	83,632	28,127
小計	565,074	494,907
利息及び配当金の受取額	94	128
利息の支払額	△1,256	△556
法人税等の還付額	54	－
法人税等の支払額	△6,180	△13,221
営業活動によるキャッシュ・フロー	557,785	481,258
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,447	△31,664
貸付けによる支出	△500	△508
貸付金の回収による収入	140	1,211
長期前払費用の取得による支出	△3,755	△2,729
その他	275	△803
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,287	△34,494
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	30,000	－
短期借入金の返済による支出	－	△17,500
長期借入金の返済による支出	△55,114	△9,282
社債の償還による支出	△23,000	－
株式の発行による収入	420	210
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,694	△26,572
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	504,803	420,191
現金及び現金同等物の期首残高	478,952	573,620
現金及び現金同等物の四半期末残高	983,756	993,812

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成23年10月１日　至　平成24年３月31日)

当社グループにおいては、飲食事業及び水産物の販売を行っております。水産物の販売は重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成24年10月１日　至　平成25年３月31日)

当社グループにおいては、飲食事業及び水産物の販売を行っております。水産物の販売は重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。